

授業・講座展開例 ネットトラブル(定期購入)

■ テーマ

鍛えよう、消費者力
～ネットトラブル(定期購入)を事例として～

■ 本時の目的

- 事例を通じて、ネットトラブル(定期購入)の現状と問題点を理解する。
- 自分がトラブルに遭わないための注意点や、周囲が巻き込まれそうになった際の対応を身に付ける。

■ 展開例

時間	主な活動	指導上の留意点	使用する教材・資料
導入 (5分)	1. 本時の目的を確認する <ul style="list-style-type: none"> ● ネット通販を利用したことがあるか確認し、トラブルに遭いそうになった経験などを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会の変化(デジタル化の進展等)に伴い、ネット通販で定期購入のトラブルが問題となっていることに気づかせる。 ● ネット通販を利用しないという人には、家族や身近な人がトラブルに遭う可能性を伝え、関心を持ってもらうように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「消費者トラブル概況」投影用スライド P.8,10
展開① (20分)	2. 定期購入のトラブル事例をもとに、気づく力を身に付ける <ul style="list-style-type: none"> ● トラブル事例のマンガを読み、振り返り問題に答え、主人公がトラブルに遭った原因を考察する。 ● 通販サイトで、表示が義務づけられている事項を確認する。 ● 「ダークパターン」の特徴を知り、気づくポイントを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事例の主人公は中年男性だが、中学生から高齢者まで被害があることを伝える。 ● 広告や注文画面によって誰でもトラブルに陥る可能性が高く、巧妙に仕組みられた場合、回避することが困難であることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「定期購入」投影用スライド P.1-13 ● 「定期購入」投影用スライド P.14-23
展開② (20分)	3. トラブルに遭わないための対処法を身に付ける <ul style="list-style-type: none"> ● ネット通販の最終確認画面の例を見て、「復習・実践」の問題に取り組む。 ● 「定期購入」トラブルに遭ってしまった場合の相談先を確認し、トラブルに備えて「スクリーンショット」の撮り方を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 最終画面確認において、最低限確認すべき点について理解させる。解約と返品は、販売店のルールに従うことになっていることを理解させる。 ● 相談をする際や、事業者と交渉する際は、購入画面やメールの記録が重要であることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「定期購入」投影用スライド P.30-45 ● 「相談先・周囲への働きかけ」投影用スライド P.15-25
まとめ (5分)	4. 本時で学んだことを振り返る <ul style="list-style-type: none"> ● 学習内容を振り返り、ワークシートで復習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たなトラブルが次々に現れるので、常に「気づく」「断る」「相談する」という意識を持つことが大切であることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「定期購入」投影用スライド P.24-29 ● ワークシート